

イベント 2021年9・10・11月

◎…定員 ①…参加料金 ②…申込方法

動植物体験プログラム
 里山倶楽部 秋のきのこ鑑定回
 9月23日(木祝) 秋に顔を出すかわいいきのこを調べよう。
 10:00~15:00 ②20名 ③100円 ④事前電話予約

トンボの不思議
 里山自然観察会
 10月3日(日) 自然生態園にいるトンボを観察します。
 13:00~15:00 ②20名 ③無料 ④事前電話予約

プロジェクト・ワイルド 自然発見塾
 10月9日(土)、11月13日(土) ②各日20名 ③100円/人
 13:00~14:30 ④事前電話予約 生きもののくらしについて楽しく学ぼう!

ムササビ観察会
 11月28日(日) 夜の哺乳類観察、ムササビに会いに行こう。
 16:00~18:00 ②20名 ③100円 ④事前電話予約

手作り体験プログラム
 おばあちゃん古里教室
 壁飾りをつくろう 9月9日(木) 10:00~13:00
 布や綿を使って、秋らしい壁飾りを作ります。
 ②10組 ③600円/作品 ④事前電話予約

さめきの味・白味噌づくりに挑戦! ②10組 ③2,700円/組
 11月11日(木) 13:00~15:00 手作り味噌を作ります。④事前電話予約

草木染めをしよう 9月19日(日) 10:00~15:00
 園内の植物を使って染めたオリジナルハンカチを作ろう!
 ②15名 ③300円/作品 ④事前電話予約

竹細工をしよう
 里山伝承体験 竹細工をしよう
 貯金箱、竹トンボなど竹を使って作ってみよう!
 9月20日(月祝)、10月17日(日)、11月6日(土)
 10:00~12:00、13:00~15:30 ②各回20名 ③100円/作品 ④当日受付

うどんをつくろう
 里山生活体験 うどんをつくろう
 9月26日(日)、10月16日(土)、10月23日(土)、
 11月14日(日) 10:00~13:00 ②各日4組 ③200円/玉
 自分でうどんを作り、味わおう! ④事前電話予約

古代米をつくろう
 稲刈り 古代米の収穫を体験しよう!
 10月10日(日) 10:30~12:00 ②20名 ③100円/人
 ④10月1日より事前電話予約

コースターをつくろう
 綿糸を使ってきれいなコースターを作ろう!
 10月30日(土) 10:00~12:00 ②5組 ③700円/作品 ④事前電話受付

このかわら版は、「まんのう公園インタープリター・ボランティアの会」、「国営讃岐まんのう公園さめきの森の会」の皆様のご協力を頂いております。

国営讃岐まんのう公園 自然生態園

〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12
 各種イベントの事前ご予約はこちらまで! Facebookはこちらから!

0877-79-1807

FAX: 0877-79-1704
 ホームページ: <https://sanukimannopark.jp>



わら草履をつくろう
 11月7日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00
 わらを使って昔ながらの草履を作ろう! ②各回5名 ③100円/作品 ④事前電話予約

ほし柿をつくろう 甘いほし柿を作ってみよう!
 11月20日(土) 10:00~15:00 ②10名 ③300円/人 ④事前電話予約

ネイチャークラフト 葉っぱで遊ぼう
 いろいろな葉っぱを使ってオリジナル作品をつくろう!
 11月21日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00
 ②各回20名 ③100円/作品 ④当日受付

森の体験プログラム
 森でリフレッシュ! ハンモック体験
 親子で森の散策とハンモック体験でリフレッシュ!
 9月19日(日)、20日(月祝) 10:30~12:00、
 13:30~15:00 ②各回10名 ③100円/人 ④事前電話予約

それゆけ! きこり探検隊
 秋の森の観察とアカマツの枝打ち体験
 親子で秋の動植物観察とアカマツの枝打ちを体験!
 10月2日(土) 10:00~13:00 ②20名 ③200円/人 ④事前電話予約

遊びの楽校 (こどもから大人まで参加できます)
 竹馬、竹トンボ、羽根つきなど懐かしい昔遊びが楽しめます!
 9月18日(土)~26日(日) ②なし ③無料 ④当日受付

里の手しごとフェス2021 10月24日(日) 10:00~15:00
 竹細工、糸つむぎ体験、新割り体験等のワークショップ、昔ながらの
 手づくり作品の展示、販売を行う「里の縁側市」を開催します。

さめきの森の日
 丸太切り体験や間伐材を使った工作体験、さめきの森の観察会などをします。
 10月30日(土) 10:00~15:00
 ②なし ③100円/作品 ④当日受付

自然生態園 収穫祭
 園内で収穫した古代米を使っ
 た餅つき体験等を行います。
 11月23日(火・祝) 10:00~ ③100円/人

ツリークライミング ロープを使った木登り体験を実施します。
 11月13日(土)、11月14日(日) 10:00~11:30、12:30~14:00、
 14:30~16:00 ②各回8名(事前受付) ③1,000円/人(入園料・駐車料別) ④小学生以上

さめきの森の会 会員募集
 国営讃岐まんのう公園さめきの森で、森づくりや森林体験イ
 ントなどの活動を行う「さめきの森の会」の会員を募集中です。
 興味のある方、詳しい内容を知りたい方は、是非、自然生態園
 までご連絡ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは変更
 または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

さめきの森の会 会員募集

国営讃岐まんのう公園さめきの森で、森づくりや森林体験イ
 ントなどの活動を行う「さめきの森の会」の会員を募集中です。
 興味のある方、詳しい内容を知りたい方は、是非、自然生態園
 までご連絡ください。

自然生態園 さめきの森
 2021年9・10・11月 かわら版 秋号 Natural Ecological Garden Sanuki Woods

ガイドプログラム 参加無料

※湖畔の森ガイドウォークは参加料が必要となります。
 ※入園料・駐車料金が別途必要となります。

自然生態園ガイドウォーク

インタープリターと一緒に楽しく散策をしよう!

土日祝 10:30~12:00、13:30~15:00

②各回10名 ③当日受付

※平日は、団体でのご利用を事前申込で行っています。



さめきの森ガイドウォーク

インタープリターが日ごろ、入れないエリアもご案内します!

9月26日(日)、10月10日(日)、
 10月23日(土)、11月23日(火祝)
 10:30~12:00、13:30~15:00

②各回10名 ③当日受付



きょうい たび 驚異のバス旅P&R

園内の巡回バスを利用し、インター
 プリターと一緒に自然生態園、さめ
 きの森、湖畔の森等を巡ります。

9月26日(日)
 10:00~13:00

②10名 ③事前電話予約

満濃池展望遊歩道ガイド

インタープリターが満濃池や空海の解説をします。

10月3日(日)、11月14日(日)
 10:30~12:00、13:30~15:00

②各回10名 ③当日受付(随時)

※満濃池展望遊歩道 希望の橋

②…定員 ③…申込方法 ④…集合場所



湖畔の森ガイドウォーク

インタープリターが満濃池のすぐ近くまでご案内します!

10月17日(日)
 10:00~15:00

②10名 ③100円

④事前電話予約

締切10月15日(金)



あなたも自然を伝える活動に参加しませんか!
 インタープリター・ボランティア養成講座

目的 インタープリター活動に興味がある方に、気軽に活動を体験し、活動内容を理解いただく講座です。

募集 随時受付 対象 高校生以上の方

年間を通じての養成講座にて、自然に対する興味を深めると同時に、インタープリター・ボランティア
 として活動するための知識・技術を学びます。

インタープリターとは
 「自然案内人(しぜんあんないにん)」です
 インタープリターは、一般的に〈通訳〉と表現
 されていますが、国営讃岐まんのう公園では
 園内の自然や歴史・文化を知識のみではなく、
 その背景にあるメッセージを含めてわかりやす
 く伝える人をインタープリターと呼んでいます。

新型コロナウイルス感染防止のため、ご理解ご協力をお願いします。



体調不良の場合には
 来園をお控えください。



マスクの着用を
 お願いいたします。



手洗い・手指の消毒を
 お願いいたします。



人と人との間隔を空けて
 ご利用ください。



動物 ミヤマアカネ
8月～11月
南の台地及び逆様池周辺

日本が一番きれいな翅模様を持つアカトンボの仲間です。暑い夏の間は池周辺の林縁で過ごしています。未熟期は雄雌とも麦わら色の体色ですが成熟するとみは全体に赤味がかり、♀は橙褐色を帯びてきます。園内各所で見られます。

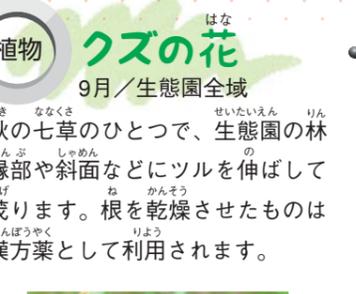
動物 ハイロチョッキリ
9月／生態園全域

まだ若いどんぐりの内部に卵を産みつけ、その枝を噛み切って落とします。コナラとアベマキの木の下に葉っぱとどんぐりが付いた小枝が落ちていたら、この虫のしわざです。



植物 クズの花
9月／生態園全域

秋の七草のひとつで、生態園の林縁部や斜面などにツルを伸ばしてしげ茂ります。根を乾燥させたものは漢方薬として利用されます。



植物 キセルアザミ
9月中旬～10月上旬／北の谷 東の谷 湿地の谷

湿地に生え、花は茎の先端に1個咲きます。花の咲いた様子が、火をつけた「キセル(煙管)」のように見えるのでこの名前がつけました。



植物 キノコたち

秋の雑木林はキノコの王国。写真のチャツムタケの他にもさまざまな大きさ、色、形をしたキノコがあちこちで見つかります。「食べられるの?」「毒キノコじゃないの?」…気になる人は、「ガイドウォーク」や「きのこの観察会」に参加してみてくださいね!

自然生態園 さぬきの森

秋



お客様へお願い

- 動物は、管理されているため採取は禁止となっております。
- 自然環境を保つため、かぶれやすい木やヤマシ、スズメバチなど危険な動植物も生育・生息しています。ご注意ください。
- 生態系保護のためペット類の持ち込みはできません。
- 足元は、ウォーキングに適した靴を履いてください。
- さぬきの森へは、閉園1時間前までにお入りください。お車、自転車での入場はできません。



風景 常盤木の丘
さぬきの森

アカマツ林の再生を行っているエリアです。花ぶぶきの丘に向かって散策して行くくと讃岐山脈や周辺の山々の眺望が楽しめます。

植物 ヒヨドリジョウゴ
9月～10月／さぬきの森

日当たりのよい山野に生える性の多年草で、白い花を咲かせ、花が終わると赤い実をつけます。ヒヨドリジョウゴは、鳥のヒヨドリが好んで食べるという意味だそうです。



植物 イマザンショウ
10月／さぬきの森

林縁などに生える落葉低木です。葉やトゲは互生。7～8月に黄緑色の小さな花が咲き、10月頃に果実が3個ずつに分かれて熟します。



植物 ヤマジノホトトギス
9月～10月／さぬきの森

花びらに細かな紫の点があり、この紫の点を鳥のホトトギスの胸の模様に見立てて「ホトトギス」の名前がついています。ヤマジノは「山路の」と書きますが、あまり深い意味はないそうです。



植物 ヤブラン
9月～10月／さぬきの森

林内で小さな紫色の花を咲かせます。花が終わると黒い実をつけます。奈良・平安時代の頃から歌にも詠まれた植物で、万葉集に出てくる山管は、ヤブランのことを指すとも言われています。

アクティビティ バッタの重力



- バッタとは何か? なにも見ないでバッタを描いてみよう! みんなで見せっこ。本物のバッタと自分の絵を比べてみる。何が違う?
- これから立ち幅跳びの記録会をすることを告げる。一番遠くへ飛んだ参加者に拍手。飛ぶ距離が一番短い参加者の記録を告げ、その20倍の距離を測る。バッタは、体長の20倍遠くへ飛ぶことができる。
- バッタってすごい! 自然生態園に生息するバッタを紹介し、その特徴や色、生態についてみんなで再考する。

トピックス 自然生態園のつるべ井戸

自然生態園のつるべ井戸は、直径が約70cm、深さ(石積みの上部分から水面まで)が約4m85cmあります。(水位は季節によって変動します)

ここでは、ロープの両先端についたバケツ(つるべ)と滑車を使い、昔ながらの方法で井戸水をくみ上げる体験ができます。水温は、年間を通じてほぼ一定の18℃前後であるため、夏は冷たく、冬は温かく感じられます。

「つるべ井戸」の名前は、昔、縄の先につけた水を汲む入れもの(桶)を「つるべ」と呼んでいたことに由来します。

【使い方】上にあがっている空のバケツを下にさげていくと、滑車を伝って、反対側のバケツに水が入って上がってくる仕組みで水が汲みあがります。一度、井戸からくみ上げた水は、地下水を汚さないように、井戸の中に水を戻さず、井戸の外にあるタライに入れてください。

*昭和30年頃まで実際にこの場所で生活されていた方は、現在自然生態園にあるような滑車を利用した方法ではなく、竹竿につるべ(桶)をくりつけて水をくんでいました。

*その他、自然生態園では、長い取っ手を押しながら水をくみ上げていく「手押しポンプ」も楽しむことができます。(手押しポンプは、地下水ではありません)自然生態園で昔懐かしい「水のかみ上げ体験」を満喫してみてください。